



まつりの名物  
「アユの千匹焼き」



恥ずかしそうにしていた唯さんですが、  
レンズを向けるとちゃっかりとポーズの現代っ子。



まき棚に張られたお札。  
中には「おじいちゃんの病気が  
早く治りますように」のお札も。



歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド<sup>3</sup>

市民の皆さんが  
たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「鳳凰山」「外川原」



## 市

内各地でお盆の行事が盛んに行われています。今回は、その行事に突撃取材！一つ目は、大胆にも大文字まつりのメインイベント「大文字焼き」の点火現場に密着取材です。では、カメラをザックにいざ出陣！

## 困

難の序章は、長木地区の登山口から始まりました。筆者のクルマがあることが山道のぬかるみで脱出不能！後から立ち会ったために来た消防職員に救助していただきました。ありがとうございました。30分遅れでようやく登山開始。ヒューヒュー言いながら、40分ほどで大の字の下部に到達。辺りには、長年点火作業に携わってきた中嶋林業の人たちにまじって、一般の方々も見られます。中には家族連れで登ってきたかたも。

## 真

赤な夕日を見ながら3人仲良くおにぎりをほお張っているのは、石垣茂弘さん(小茂内)と奥さんのきせ子さん。そして、高3の娘さんの唯さん。「家族で毎年登ってるの」ときせ子さん。「息子も来るんだけど、下の方にいるんじゃないかしら」。ウーム、ここは大の字が描かれた急斜面。立っているのも危うく、おいそれと移動できる場所ではない。

## お

礼を述べて、歩き良いところをヨタヨタ移動すると、下方に小さな子がいるグループを発見。やっとこさたどり着き、インタビュ開始。「早口から来たの。新大館市になった早口です」と明るく答えていただいたのは、山城屋純子さん(出口)。お隣は？「今は、東京で暮らしているの。東京では山じゃなくて、高いビルの上階が好き(笑)」と妹の大橋宏子さん。そして純子さんの息子の智幸さんと孝浩さん。小さなお子さんは、智幸さんの子供たちの月ちゃん(早口小2年)と陽大ちゃん(田代保育園)の6人。純子さんは10年ぐらい前から登っているというバテランで、皆さんを引き連れやって来ました。陽大ちゃんは、「ボクはバナナが大好き！」と元気に話してくれました。陽大ちゃんは2回目だとか。えらい！

## 真

赤な夕陽が惜しまれながら沈み、やがて空は朱色からインクブルーに。街の灯りが輝きを増し、とてもきれいだ。星空が広がり、今夜は大文字晴れといったところか。毎年来る気持ちも分

ほぼ毎年来ているという山城屋純子さん(右)月ちゃんと陽大ちゃんも、仲良く並んで、ハイノピース



渦巻く火炎、降りかかる火の粉、  
煙で涙が止まらず……。